

依頼団体報告書

年月日	種類	依頼団体	聴講者数(名)	良い反応	悪い反応	要望
H17.6.10	研修員との交流	神戸大学発達科学部 付属明石小学校 3年生	79	研修員が子ども達に優しく語りかけてくれ、子どもも早くうちとけ、笑顔で楽しく交流することができた。今後の英語を含む国際理解学習への意欲が増したようだ。		今後もこのような計画があればぜひ参加したい。
H17.9.2	研修員との交流	神戸大学発達科学部 付属住吉小学校 4年生	185	言葉が違ってても触れ合うことの楽しさを経験して、楽しい一日をもてたことを感謝している。		日本で紹介される機会の少ない国から来られている方が多く、情報を集めるのが困難だった。かんたんな国紹介パンフレットなどがあれば助かる。
H17.10.7	研修員との交流	三田市立三輪小学校 5年生	183	とてもよい機会になった。今まで知らなかったことをいろいろ知ることができた。交流に参加した親にとっても楽しかった。		来年度以降もこの形で交流会を発展し、保護者を含めた地域ぐるみの国際理解教育をしたい。通訳があと、1~2名来てくれると助かる。
H17.10.18	施設訪問	淡路市立富島小学校 5、6年生	29	クイズ形式で開発途上国の問題やJICAの活動を説明して頂いたので、子供たちには、大変分かりやすかった。		迷惑にならない程度で、研修員の実習などの様子を見せてあげられたらと思った。
H17.11.9	施設訪問	神戸市立なぎさ小学校 3年生	19	小学3年生でも興味深く聞くことができた。JICAに見学に行けてよかったという児童ばかりだった。	世界レベルでの話なので、見学前に世界地図を用意すればよかった。	3年生ぐらいの子どもは、食への関心が高いので、夕食や朝食等の写真をを見せて頂くと、そこから世界を知る入り口になり、JICAの活動にも興味を持てるようになるのではないかな。
H17.11.17	出前講座	神戸市立長楽小学校 4年生	30	事前学習をしていたので、一人一人が課題意識をもって話が聞けた。ノートやパソコンなどを用意して頂き、分かりやすくなるように工夫して頂いた。		児童への講座について、さらにノウハウを蓄積するとともに、より広いテーマも準備して頂きたい。
H17.11.22	出前講座	西宮市立津門小学校 5年生	105	少人数形式で、聞きたいことを素直に聞いていた。どのグループもとてもいい雰囲気でした。60分を短く感じるほど、集中して取り組んでいた。		
H17.11.25	出前講座	神戸市立鈴蘭台小学校 6年生	83	楽しいクイズを交えて説明してもらった。民族衣装を着ての講話でよかった。	用意された内容が多いように思える。	今回は講話20分、体験10分、質疑10分という組み立てでやってみよう。
H17.12.2	出前講座	神戸市立鈴蘭台小学校 6年生	77	ガーナの人々の暮らしと自分達の生活の違いに驚きを感じた。国際的なボランティア活動が具体的に理解できた。ガーナの衣服や小物を試着できてたいへんよかった。		海外からの外国人と交流する機会があれば大変うれしい。
H17.12.2	出前講座	神戸市立鈴蘭台小学校 6年生	77	学習の目標にそった内容でありたいへん役立った。タンザニアの衣服を試着したり、楽器をさわったりすることができてたいへんよかった。		海外からの外国人と交流する機会があれば大変うれしい。
H17.1.13	施設訪問	猪名川町立白金小学校 6年生	84	内容については、とても分かりやすく学校に帰ってからの国際理解についての授業がとてもスムーズでした。		
H17.1.20	研修員との交流	淡路市立富島小学校 1、5、6年生	43	国際理解教育では、知的な学習も必要だが、体験的学習が重要だと思う。外国の方とふれあうことは良い学習で、今回の交流を計画して本当に良かった。	盛りだくさんの計画だったので、時間がなくてプログラムを全部できなかったことが残念だった。次回は、もっとゆったりとした計画で余裕を持ちたいと思った。	
H17.1.27	研修員との交流	神戸市立本山第一小学校 3、4、5、6年生	563	とても充実した交流会ができた。毎年、年間計画に実施を位置付けている交流なので、学年の発達段階に応じた準備を行い、実際に海外から来られた方とふれあい、体験的な学びを通して子どもたちの目をより広い世界にむける効果があった。		
H17.2.22	研修員との交流	神戸市立本山第一小学校 3、4、5、6年生	217	馴染みのない国の方が多かったおかげで、教師にとっても児童にとっても新鮮で、楽しい学びの場を確保できた。コミュニケーションを日本語に頼らず行うことへの自身をつけた子もいる。	研修員の方が子どもにサインをしたため、児童が列に並び、交流が出来なくなったクラスがあった。文字も大切な記念になるが、私達は子どもの心にきざむ交流を願っているので、事前に伝えておいていただけるとありがたい。	

小学校

依頼団体報告書

	年月日	種類	依頼団体	聴講者数 (名)	良い反応	悪い反応	要望
小学校	H17.2.23	出前講座	高砂市立米田西小学校 6年生	100	講師の話を聞いて、遠い国のことではなく同じ21世紀を生きる人間として、パキスタンやアフガニスタンが身近に感じられ、視野が広がった。		
	H17.3.3	研修員との交流	神戸市立若宮小学校 全校生徒	238	子供達にとって得がたい経験であり、「言葉は通じなくても心は伝わる」ことが実際に確かめられたことが大きかった。		
	H17.3.10	施設訪問	淡路市立生穂第一小学校 6年生、 淡路市立佐野小学校 6年生	42	社会の教科書で学習した内容ではあまり分からない点が多く、JICAとは何かということがはっきりしていなかったが、今回の説明でよく分かった。		研修に来られている外国人の方の話の聞いたり、交流できると児童はうれしい体験となると思う。

依頼団体報告書

	年月日	種類	依頼団体	聴講者数(名)	良い反応	悪い反応	要望
中学校	H17.5.20	施設訪問	京都府木津町立木津中学校 2年生	190	ボランティア精神を学ぶことができ、大変有意義な講演であった。講師だけでなく現地の方も参加して講演してもらえたので、パプアニューギニアの国のこと、青年海外協力隊の活動の様子がより深く理解できたので大変良かった。生徒も興味を持ち、集中して聞いたので、取り組んだ成果があった。		
	H17.6.10	出前講座	大阪府八尾市立瀧華中学校 2年生	30	JICAや他国のことなど、自分では遠いものとして考えていたものを話を聞くことで近く感じることができた。パソコンを使った説明がわかりやすかった。		
	H17.6.17	研修員との交流	猪名川町立六瀬中学校 全校生徒	202	英語を通じてのコミュニケーションは難しかったようだが、一緒にスポーツをしたり、互いの国の遊びを通し、打ち解けて話げできた。あらゆる面で生徒にとっての刺激となり、励みとなったようだ。	お互いを知ろうという気持ちが十分持てているか気になった。	途上国の実態や国際協力について知るために事前に生徒にお話をしてもらいたい。他校の事例を紹介してもらい、今後の交流のあり方を一緒に考えてほしい。
	H17.7.1	出前講座	三田市立上野台中学校 全校生徒	360	実体験をわかりやすく話してもらい、聞き入りやすかった。写真をたくさん見せてもらい、イメージを持ちやす印象に残った。		
	H17.7.21	出前講座	滝川第二中学校 1、2年生	157	国際理解・国際協力を遠い世界のことで受け止めていた生徒が持っていた生徒の大半が、「世界の人々が自分と同じ人である」という根本に気づき、「自分たちも何らかの活動をしたい」という思いを持つに至った。		
	H17.8.9	施設訪問	加美町教育委員会(さわやか学級) 一般公募の中学生	15	国際協力を考えていく上での良いきっかけとなった。講師自身の考え方、生き方に考えさせられた生徒も多いのではないと思う。		
	H17.8.18	施設訪問	西宮市立今津中学校 ESS部	4	JICAの活動をクイズ形式を取り入れわかりやすく、JICAへの理解が深まった。具体的な取り組みを聞かせていただき「自分たちにできること」を考えるきっかけとなった。日本以外の国々に目を向けるための授業案をしてよいアドバイスが頂けた。		
	H17.8.19	研修員との交流	神戸市立垂水中学校 1年生	179	生徒にとって意義深い体験をすることができた。		
	H17.10.3	施設訪問	精華町立精華南中学校 PTA会員	32	JICAについてあまり知らなかった保護者にとっても、新しい世界が垣間見られた。JICAについてある程度理解があったと思う。		
	H17.11.4	出前講座	神戸市立高倉中学校 2年生	136	実体験された方のお話は、生徒たちの心のより深いところにまでしみ渡ったように思う。今後、自分が開発途上国に対してできることを考え始めた生徒も見られた。		これからも、学校を始めとする若い世代のいる所で、JICAの活動内容や協力隊の方の体験談が聞ける機会を持っていただき、若い世代の人達が世界の国々の実情に目を向ける機会を持ち、何ができるかを考える機会を持たせていただきたい。
	H17.11.18	施設訪問	神戸市立垂水中学校 1年生	166	どの方の話も、中学生にとって大変わかりやすく好評だった。多くのJICA職員の方に心配りをして頂き、8月の交流会同様に、よい経験をさせることができた。		今後とも多くの中学生が出前講座を利用したい。
	H17.11.25	施設訪問	神戸大学発達科学部 付属明石中学校 1年生	6	わかりやすいプレゼンでよかった。JICAのこともよくわかった。JICAはいろいろな国を援助しているとても大切な存在だと思った。		

依頼団体報告書

年月日	種類	依頼団体	聴講者数 (名)	良い反応	悪い反応	要望
H17.4.22	施設訪問	精華高校 3年生	135	任地での苦労や喜びなど、実際に体験した人でないと分からないような生の話を聞いた。日本では当たり前前が当たり前でないことなど貴重な話だった。	機器の関係で、ビデオが途中で止まった。	
H17.5.2	研修員との交流	雲雀丘学園高等学校 1年生	30	全体の雰囲気、特に研修員との交流における雰囲気は和やかで良かった。相手の話を聞こう、答えを返そう、一緒に楽しもうという姿勢であった。JICAの事業や日本の役割などについて基礎的な知識をレクチャーしてもらえたので分かりやすかった。国際的な機関で国際的な援助にかかわる人々や働く人々について身近に感じることができた。	生徒たちのプレゼンテーションではともすれば幼さが見えるように感じた。研修員の母語をたくさん習ったり、歴史について学んだグループもあったが、食べ物や観光情報ではない内容があまり盛り込まれていないグループがあった。	
H17.5.7	出前講座	武庫川女子大学附属高等学校 2年生	47(1組) 47(2組) 42(3組)	それぞれの講師が事前に構成を考え、レジュメや参考図書、写真や音楽などを準備しており、それらによって非常に分かりやすく、楽しく、現地の状況や体験したことを話してもらえた。事前に調べていた分、生徒も興味を持っていたが、さらに興味・関心を引き出されていた。講師の影響で自分も何か打ち込めるものを見つけたい、という思いを抱いたり、青年海外協力隊に関心を持ったりする生徒もあり、さまざまな点で生徒に多くのことを教えてもらった。		今後ともこのような機会を持っていきたい。
H17.5.21	出前講座	武庫川女子大学附属高等学校 3年生	88	テーマに即し、興味を引く、生徒にとって良い機会となる講義であった。		
H17.7.22	施設訪問	兵庫県立国際高等学校 1, 2年生	252	生徒の反応もよく、興味・関心をつかんでいた。ある生徒からは、今まで受けた講演会のなかで最もよかった、と言うコメントがあった。		今後とも様々な機会をJICAと関係を持っていきたいと思っています。
H17.9.29	出前講座	県立明石城西高等学校 2年生	45	実体験や現地の実情などを、パワーポイントや写真を使って見せて頂き、とても参考になった等の感想がほとんどだった。生徒からの質問も出て、反応はよかった。		本校の「グローバル探究コース」をより発展させていくためにも、今後ともよろしく願いたい。
H17.10.28	研修員との交流	県立神戸高塚高等学校 環境科学受講生徒	20	受身の体験ではなく、自分たちで工夫し、英語で発表するという高いハードルを越えることで得られた自信は何ものにも代え難い経験となった。		
H17.11.2	施設訪問	県立篠山鳳鳴高等学校 2年生	40	生徒達は、非常に熱心に協力隊OBの講義を聞いていた。協力隊員になりたいという希望を持っている生徒もいたため、良い刺激になった。		
H17.11.2	出前講座	県立尼崎小田高等学校 2年生	39	実際に国際協力に携わった人からの講演は大変興味深く、普段は知ることのできない、その国の文化や生活習慣について知ることができた。また、異文化を理解するとはどういうことか、生徒の考えは深まった様子であった。同時に自分自身の考えを客観的に捉える良い機会となった。		
H17.11.5	出前講座	武庫川女子大学附属高等学校 2年生	40(7組) 42(8組) 42(9組)	現地にしばらく暮らしてみなければわからないお話や、映像、衣装といっためずらしい資料なども披露してくださり、大変興味深いものだった。生徒からの感想は、この授業を含めているいろいろなことを考え、多くの人と接していくのになにかしらのプラスの影響を与えることができたと感じさせるものだった。		2年生3年生ともに今後ともこのような機会をもっていきたい。

高校

依頼団体報告書							
年月日	種類	依頼団体	聴講者数(名)	良い反応	悪い反応	要望	
H17.11.11	施設訪問	兵庫県立小野高等学校 2年生	39	JICAと国際貢献の話は、高校2年生の世界と平和を考えるきっかけとしてはとてもいい話でした。協力隊経験者の体験談は、まさに異文化の中での国際協力の話がそのまま伝わってくる迫力あふれる話だった。		来年も同じ時期に国際経済科の訪問をしたい。	
H17.11.24	出前講座	県立伊川谷北高等学校 1年生	32 (4回に分けて実施)	キャリアアップという目的で準備して頂いたそれぞれの講座で、生徒達は多くの事を学ばせて頂いたと確信できた。	生徒の声に50分は短すぎる、もっと内容を深めたいとの意見が多数あったので、今後の課題としたい。		
H17.12.15	出前講座	兵庫県立加古川北高等学校 全校生徒	1,064	講演が分かり易く、有益で興味深いものだった。文化の違いがよくわかり、自分の国を見直す良い機会となった。高校生に理解し易い言葉で熱心に語られ国際理解の「基本」を学んだ気がした。また、講演を聴いて、アフリカに興味を持った。		講演後に興味を持った生徒を対象に、座談会みたいなものをして、話し手と聞き手の距離をせばめるのも一案かと思えます。	
H18.1.25	出前講座	県立鳴尾高等学校 全学年	285	馴染みの薄いアフリカの高校生たちの様子や教育環境を知る良い機会となった。	50分間という短い講演時間であったため、青年海外協力隊の活動や日本の援助などについて詳しく聞けなかったのが、残念だった。	ワークシート以外に現地の言葉や生活習慣の違い、青年海外協力隊の活動等についての資料を準備してもらえれば良かった。	
H18.1.26	施設訪問	県立篠山鳳鳴高等学校 1年生	34	講義内容が熱心に取り組んで作られたもので大変良かった。生徒達も積極的に発言してくれたので良かった。		土曜日、日曜日に高校生向けで協力隊OVの話の聞けたり、研修員との話し合いを出来る場を定期的に設けてもらえたらうれしい。	
H18.2.2	出前講座	県立鈴蘭台高等学校 2年生	70	生徒のつかみ方がうまく、2時間の講義がとても早かった。また、コンピューターの技術者だけあって、パワーポイントの作り方、使い方がとても上手く、素晴らしい授業だった。			
H18.2.2	施設訪問	神戸市立六甲アイランド高等学校 2年生	15	これまでの授業のなかで、南北問題やそれにともなう諸問題、開発途上国の現状等を説明してきたが、JICAの取組みの説明を通して、生徒たちの理解がより深まり、国際協力の重要性を再認識した生徒も多いようだ。			
H18.2.14	出前講座	私立松蔭高校 3年生	30	国際理解教育にとって非常に有益な話だった。参加型の講演は、生徒達に難民の問題を身近に感じさせることが出来た。			
H18.2.20	出前講座	県立明石西高等学校 国際人間科 1年生	15	現地で活動された方が経験に基づいて語られると非常にインパクトがあった。また、答えのないことについていろんな議論をする過程で、互いの価値観の違いを知り、理解し、認め合うことの重要性を認識したのではないかと思われる。			
H18.2.27	研修員との交流	県立明石西高等学校 国際人間科 1,2年生	79	異文化理解の面で強烈な印象を受けており、大きな成果があったと考えられる。また、国際語としての英語の可能性を今回の交流会から受けており、英語学習への動機付けの面でも、非常に大きな効果があったと考える。			
H18.3.9	出前講座	県立飾磨工業高等学校	100	世界には多くの国々で貧困や病気に苦しむ人々や、学校に行きたくても行けない人が多くいることに対して、今の自分の生活が大変恵まれて、幸福であると感じている者も多く、視野をひろげることが出来たと思う。			

高校

依頼団体報告書							
	年月日	種類	依頼団体	聴講者数 (名)	良い反応	悪い反応	要望
大学	H17.5.17	出前講座	神戸学院大学法学部	50	JICAの活動を知るきっかけができて、学生の多くがJICAや日本の海外援助に興味を持ったようである。また、青年海外協力隊員として活動された体験談から、海外と日本の文化・援助を行う必要性と想像力の重要性を認識したという意見がよせられた。	質疑応答の時間を持てなかった点は今後の改善点としたい。	講師リストがあると依頼する際に参考になるかと思う。
	H17.5.24	施設訪問	神戸学院大学法学部	40	学生たちは熱心に講義を聞いていた。将来海外援助や国際協力に携わりたいことを希望している者も多いため、目的意識を高める良い機会となった。	もう少し質問をする時間が欲しかった、個別のテーマに関してもう少し詳しく聞きたかったという要望が学生の中から出ていた。	今後とも出前講義や連続セミナー等で協力をお願いしたい。
	H17.6.7	研修員との交流交流	神戸学院大学	320 (午前) 50 (午後)	外国人の方々からライフスタイルや考え方の相違や共通性を聞き、貴重な機会を得ることができた。学生たちのJICAの業務や海外援助に対する興味が高まった。国際政治・経済などに対する学習意欲を持つことができた。	もう少し質疑応答の時間をとってほしかった。	
	H17.7.8	施設訪問	徳島大学総合科学部・基礎ゼミナール	21	国際協力の現場を直接見聞することができ、有意義な情報と刺激を受けた。国際協力に関して教育効果が大いと考えられる。	パワーポイントはわかりやすいが、画面上の言語が英語なので基礎知識のない1年生にはやや障害になったと考えられる。	
	H17.9.17	出前講座	神戸常盤短期大学	110	ザンビアの医療状況、とりわけAIDSや疾病、医療施設、公衆衛生などに関心が高く、多くの参集者と情報交換がなされた。スライドを交えてのユーモアに富んだ平易な言葉での解説は、学生に好評でした。	出前講座のアピール不足で、教育機関での講演は国際協力への啓蒙として、多大な貢献が期待されるのではないかと。本学でも出前講座の導入を検討したい。	
	H17.11.8	出前講座	甲南大学	92	多くの学生は、JICAから派遣されたお二人の話に感動し、多くのことを学んだ。JICAに対する理解、青年海外協力隊への関心と理解が深まり、将来の国際貢献を見据えた具体的な職種、資格などを考えて、今後の学生生活を送ることを決めた学生も多い。		
	H17.12.13	出前講座	神戸学院大学法学部	50	映像を交えての講演であったため、非常にわかりやすかった。また、なかには小規模の講演の方が、講師との距離が近く、馴染みやすいとの意見があった。講演のテーマについては、従来あまり気にしていなかった問題であったが、講演を機に認識が深まった。		学生からは、日本や東アジア地域における環境問題、児童労働、ストリートチルドレン、教育支援等様々な分野についても、今後引き続き話を聞いてみたいという要望が出された。

依頼団体報告書							
年月日	種類	依頼団体	聴講者数(名)	良い反応	悪い反応	要望	
H17.4.28	出前講座	神戸市生涯学習支援センター	1648 (午前) 1102 (午後)	スマトラ沖大地震。インド洋津波災害への関心が高いときだったので、話やスライドを熱心に視聴していた。			
H17.5.31	施設訪問	浜脇連合婦人会	29	自分にも出来ることはないかと考えた。スライドでよく分かった。施設見学だけでなく、実際に現地に行った人の話を聞けてとても意義のある研修会になった。			
H17.6.17	出前講座	国際ソロプチミストかずき野	19	現地の教育状況や女性の話を聞き、私たちが今生きている日本が見えてきたように思う。講師の熱い気持ちを感じ、自分たちもがんばらなければと元気をもらった。			
H17.6.24	出前講座	神戸市立長田公民館	83	海外で活動をしている人の生の声を聞くことができよかった。勉強になった。参加者の年齢層が予想より高齢者に偏ったが、講演内容を急遽配慮してくれ、感謝している。JICA宣言の美しさに感動し、ボランティア活動に復帰したいと思った。	もっと生き生きとした声でお話してほしいかった。		
H17.6.27	施設訪問	名塩婦人会	36	JICAボランティアのことが理解できた。初めて聞くことばかりだった。機会があれば又行きたい。	質問をもっとしたかったが時間がなく残念だった。館内見学は時間に余裕がなく残念だった。		
H17.9.6	出前講座	西脇老人大学	43	講師の意欲ある国際貢献への活動振りが伝わった。また、この経験を生かし、地域への活動に取り組んでいる姿勢も立派である。		開発途上国へ若者の援助活動は、国際感覚を身につけさせる上でも必要な意味を持っている。豊かな海外での体験を通して、世界の中の日本を担う人材を育成する見地からも、この事業を更に充実させてほしい。	
H17.9.17	出前講座	上郡町高齢者大学千種川学園	280	講師が地元出身ということで、学園生が親しみを感じながら受講できていた。ほとんどの学園生が、ニカラグアについての知識がなかったため、興味をもっていた。環境問題については、日本の課題として、「今、一人一人が何をなすべきか」を具体的に提案され、学園生の共感を得ていた。			
H17.11.1	施設訪問	高槻市人種啓発推進協議会	150	バングラディッシュの人種問題について、詳しく話してもらえた。女性の地位の低さ、あまりにひどい人権侵害の現状に衝撃を受けた。実体験を聞くことができ、大変勉強になった。	パワーポイントの文字が小さく、後ろの方には少し見にくかった。		
H17.12.6	出前講座	神戸市立東垂水公民館	25	パワーポイントや写真、衣服を見て、講師との会話のキャッチボールが出来ていて良かった。		様々な写真がレンタル出来ればいいな、と思う。広報展示室をもっと広くして、見て触って学べるスペースにして欲しいなと思った。	
H18.1.18	出前講座	明石市立魚住東コミュニティセンター		若い方が、意気込まずに自然に青年海外協力隊として、活躍している姿や、その話を聞くことができてよかった。		本センターでは、60歳後半から70歳代の学生が多いためか、JICAの存在を知って活動に感心した学生は多くいるが、JICAのプログラムに参加しようという意欲的な学生は少ない。JICAの講座を学校教育のなかで活かして欲しい。	

一般